

マスコミ 各位

2016. 12. 9

愛知中小企業家同友会主催

「冬の賞与調査の結果」(1571社回答)のご案内

愛知中小企業家同友会

会長 加藤 明彦

報道部長 宇佐見 孝

時下ますますご清栄の段、お慶び申し上げます。当会の活動を平素より報道して頂き、厚くお礼申し上げます。

さて当会では、11月下旬に冬の賞与調査を行い、1571社から回答を集めました。公務員や大企業とは違う、中小企業の現場の声をお知らせします。紙面等でご紹介頂ければ幸いです。

(1) 調査日時 2016年11月21日(月)～11月30日(水)

(2) 対象企業 愛知中小企業家同友会

(3) 調査方法 会員専用サイト「あいどる」

(4) 回答企業 1571社

(5) 特徴

1) 賞与を支給する会社 70%

・業種別では製造業が高い支給割合

2) 賞与支給額は「増加」が34%「減少」が14%

3) 支給平均金額 32.7万円

・今年の夏の賞与調査の平均賞与額(31.0万)を上回る

4) 平均賞与月数 1.5カ月

.....

愛知中小企業家同友会とは

現在、愛知県下4,000名を越える中小企業経営者が参加する異業種の経営者団体で、「経営体質の強化」「経営者の資質の向上」「経営環境の改善」をめざすという「3つの目的」に基づき活動しています。

1. 名称 愛知中小企業家同友会

2. 会員数 4,034名(2016年12月7日現在)

3. 会長 加藤 明彦(かとう あきひこ) エイベックス(株)代表取締役会長

4. 事務局 名古屋市中区錦3-6-29 サウスハウス2階

電話 052-971-2671 FAX 052-971-5406

専務理事 内輪 博之、事務局長 多田 直之

報道担当(事務局次長) 八田 剛

ホームページ <http://www.douyukai.or.jp>

1) 業種x正社員数x平均賞与支給額

	1～4人以下	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	総計	
建設	賞与支給額(円)	252,122	338,400	371,848	432,200	352,000	600,000	332,264	
	回答数(社)	41	50	33	10	5	4	1	144
製造業	賞与支給額(円)	294,063	297,026	350,650	304,313	323,536	456,250	322,102	
	回答数(社)	32	38	50	32	28	13	8	201
流通・商業	賞与支給額(円)	297,375	386,567	331,667	250,526	403,846	366,667	337,971	
	回答数(社)	24	30	22	19	13	4	3	115
サービス業	賞与支給額(円)	275,573	318,543	349,457	415,130	374,167	452,333	324,086	
	回答数(社)	89	70	46	23	6	12	12	258
総計	賞与支給額(円)	276,398	330,330	352,153	337,714	352,192	330,973	449,083	327,395
	回答数(社)	186	188	151	84	52	33	24	718

2) 業種x正社員数x平均賞与月数

	1～4人以下	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	総計	
建設	支給月数	1.2	1.3	1.5	1.6	1.3	1.6	0.0	1.4
	回答数(社)	26	38	28	6	4	4	0	106
製造業	支給月数	1.3	1.4	1.6	1.4	1.6	1.3	1.8	1.5
	回答数(社)	24	34	46	30	24	13	8	179
流通・商業	支給月数	1.3	1.7	1.6	1.2	1.8	1.9	1.5	1.5
	回答数(社)	22	27	21	14	12	4	3	103
サービス業	支給月数	1.4	1.4	1.4	1.6	1.5	1.4	1.9	1.5
	回答数(社)	67	54	41	21	7	11	11	212
総計	支給月数	1.3	1.4	1.5	1.4	1.6	1.4	1.8	1.5
	回答数(社)	139	153	136	71	47	32	22	600

愛知中小企業家同友会 冬の賞与アンケート(2016年11月21～30日)

☆今回調査の冬賞与平均

◎全体	¥327,395
建設業	¥332,264
製造業	¥322,102
流通・商業	¥337,971
サービス業	¥324,086

☆前回調査の夏賞与平均

◎全体	¥310,404
建設業	¥311,905
製造業	¥310,428
流通・商業	¥308,422
サービス業	¥311,063



《業種別》

Q2、今年度の決算見通し(x業種)

	黒字		トントン		赤字		計
建設業	167	54.0%	113	36.6%	29	9.4%	309
製造業	162	49.5%	109	33.3%	56	17.1%	327
流通・商業	107	48.2%	74	33.3%	41	18.5%	222
サービス業	350	49.4%	264	37.2%	95	13.4%	709
計	786	50.2%	560	35.7%	221	14.1%	1567

Q3、正社員を雇用(x業種)

	はい		いいえ		計
建設業	250	80.6%	60	19.4%	310
製造業	290	88.4%	38	11.6%	328
流通・商業	192	86.1%	31	13.9%	223
サービス業	496	69.9%	214	30.1%	710
計	1228	78.2%	343	21.8%	1571

Q5、夏の賞与の支給(x業種)

	支給した		支給しない		計
建設業	189	75.6%	61	24.4%	250
製造業	250	86.2%	40	13.8%	290
流通・商業	149	78.4%	41	21.6%	190
サービス業	317	63.9%	179	36.1%	496
計	905	73.8%	321	26.2%	1226

Q6、冬の賞与の支給(x業種)

	支給する(した)		支給しない		検討・未定		計
建設業	175	70.0%	33	13.2%	42	16.8%	250
製造業	234	80.7%	19	6.6%	37	12.8%	290
流通・商業	142	74.3%	28	14.7%	21	11.0%	191
サービス業	305	61.6%	120	24.2%	70	14.1%	495
計	856	69.8%	200	16.3%	170	13.9%	1226

Q7、賞与の支給方法(x業種)※複数回答

	給与連動式		業績連動式		全員一律		労使交渉		計
建設業	59	33.3%	104	58.8%	7	4.0%	4	2.3%	177
製造業	84	35.7%	140	59.6%	3	1.3%	5	2.1%	235
流通・商業	47	33.6%	87	62.1%	4	2.9%	0	0.0%	140
サービス業	133	43.3%	146	47.6%	16	5.2%	9	2.9%	307
計	323	37.6%	477	55.5%	30	3.5%	18	2.1%	859

Q8、賞与額の主な計算基準(x業種)

	定額金額		〇カ月計算		査定評価		計
建設業	22	12.4%	49	27.7%	95	53.7%	177
製造業	32	13.6%	74	31.5%	125	53.2%	235
流通・商業	19	13.8%	42	30.4%	73	52.9%	138
サービス業	45	14.7%	121	39.5%	133	43.5%	306
計	118	13.8%	286	33.4%	426	49.8%	856

Q9、平均賞与支給額(x業種)

	10万円未満	10～20万円未満	20～30万円未満	30～40万円未満	40～50万円未満	50～60万円未満	60～70万円未満	70万円以上	計								
建設業	6	4.2%	18	12.5%	36	25.0%	32	22.2%	25	17.4%	14	9.7%	9	6.3%	4	2.8%	144
製造業	4	2.0%	29	14.4%	55	27.4%	55	27.4%	28	13.9%	14	7.0%	9	4.5%	7	3.5%	201
流通・商業	3	2.6%	12	10.4%	32	27.8%	26	22.6%	22	19.1%	10	8.7%	6	5.2%	4	3.5%	115
サービス業	8	3.1%	32	12.4%	80	31.0%	62	24.0%	33	12.8%	22	8.5%	8	3.1%	13	5.0%	258
計	21	2.9%	91	12.7%	203	28.3%	175	24.4%	108	15.0%	60	8.4%	32	4.5%	28	3.9%	718

Q10、平均賞与支給月数(x業種)

	～1ヶ月未満	1ヶ月～2ヶ月未満	2ヶ月～3ヶ月未満	3ヶ月～4ヶ月未満	4ヶ月以上	計					
建設業	19	17.9%	57	53.8%	26	24.5%	4	3.8%	0	0.0%	106
製造業	21	11.7%	116	64.8%	35	19.6%	7	3.9%	0	0.0%	179
流通・商業	12	11.7%	58	56.3%	31	30.1%	2	1.9%	0	0.0%	103
サービス業	26	12.3%	125	59.0%	53	25.0%	7	3.3%	1	0.5%	212
計	78	13.0%	356	59.3%	145	24.2%	20	3.3%	1	0.2%	600

Q11、昨年冬の金額と比べて(x業種)

	減少した		昨年並み		増加した		計
建設業	24	14.5%	98	59.0%	44	26.5%	166
製造業	37	15.9%	131	56.2%	65	27.9%	233
流通・商業	21	15.2%	66	47.8%	51	37.0%	138
サービス業	30	10.2%	144	48.8%	121	41.0%	295
計	112	13.5%	439	52.8%	281	33.8%	832

Q12、非正社員にも冬の賞与を支給(x業種)

	支給する(した)		支給しない		検討・未定		計
建設業	64	38.1%	59	35.1%	20	11.9%	168
製造業	120	52.2%	77	33.5%	21	9.1%	230
流通・商業	59	43.7%	46	34.1%	16	11.9%	135
サービス業	112	37.6%	119	39.9%	24	8.1%	298
計	355	42.7%	301	36.2%	81	9.7%	831

《正社員数別》

Q2、今年度の決算見通し(x正社員) ※社員のいない会社は除く

	黒字		トントン		赤字		計
1~4人以下	182	43.9%	159	38.3%	74	17.8%	415
5~9人	166	51.2%	109	33.6%	49	15.1%	324
10~19人	126	56.5%	77	34.5%	20	9.0%	223
20~29人	67	59.3%	38	33.6%	8	7.1%	113
30~49人	52	66.7%	18	23.1%	8	10.3%	78
50~99人	26	57.8%	18	40.0%	1	2.2%	45
100人以上	22	81.5%	4	14.8%	1	3.7%	27
計	641	52.3%	423	34.5%	161	13.1%	1225

Q5、夏の賞与の支給(x正社員)

	支給した		支給しない		計
1~4人以下	231	55.8%	183	44.2%	414
5~9人	240	73.8%	85	26.2%	325
10~19人	197	87.9%	27	12.1%	224
20~29人	97	85.8%	16	14.2%	113
30~49人	73	93.6%	5	6.4%	78
50~99人	41	91.1%	4	8.9%	45
100人以上	26	96.3%	1	3.7%	27
計	905	73.8%	321	26.2%	1226

Q6、冬の賞与の支給(x正社員)

	支給する(した)		支給しない		検討・未定	計	
1~4人以下	217	52.2%	120	28.8%	79	19.0%	416
5~9人	229	70.5%	49	15.1%	47	14.5%	325
10~19人	181	81.2%	14	6.3%	28	12.6%	223
20~29人	97	85.8%	9	8.0%	7	6.2%	113
30~49人	69	89.6%	4	5.2%	4	5.2%	77
50~99人	38	84.4%	3	6.7%	4	8.9%	45
100人以上	25	92.6%	1	3.7%	1	3.7%	27
計	856	69.8%	200	16.3%	170	13.9%	1226

Q7、賞与の支給方法(x正社員)※複数回答

	給与運動式		業績運動式		全員一律		労使交渉		計
1~4人以下	79	35.7%	121	54.8%	11	5.0%	6	2.7%	221
5~9人	89	39.2%	118	52.0%	11	4.8%	4	1.8%	227
10~19人	62	34.1%	114	62.6%	3	1.6%	3	1.6%	182
20~29人	37	38.1%	53	54.6%	4	4.1%	1	1.0%	97
30~49人	25	36.2%	42	60.9%	1	1.4%	1	1.4%	69
50~99人	16	42.1%	21	55.3%	0	0.0%	1	2.6%	38
100人以上	15	60.0%	8	32.0%	0	0.0%	2	8.0%	25
計	323	37.6%	477	55.5%	30	3.5%	18	2.1%	859

Q8、賞与額の主な計算基準(x正社員)

	定額金額		〇カ月計算		査定評価		計
1~4人以下	54	24.4%	73	33.0%	84	38.0%	221
5~9人	34	15.0%	80	35.4%	107	47.3%	226
10~19人	16	8.8%	59	32.6%	102	56.4%	181
20~29人	9	9.3%	29	29.9%	56	57.7%	97
30~49人	3	4.3%	22	31.9%	43	62.3%	69
50~99人	2	5.4%	15	40.5%	18	48.6%	37
100人以上	0	0.0%	8	32.0%	16	64.0%	25
計	118	13.8%	286	33.4%	426	49.8%	856

Q9、平均賞与支給額(x正社員)

	10万円未満	10~20万円未満	20~30万円未満	30~40万円未満	40~50万円未満	50~60万円未満	60~70万円未満	70万円以上	計								
1~4人以下	15	8.1%	24	12.9%	64	34.4%	40	21.5%	24	12.9%	10	5.4%	7	3.8%	2	1.1%	186
5~9人	0	0.0%	25	13.3%	54	28.7%	47	25.0%	35	18.6%	14	7.4%	6	3.2%	7	3.7%	188
10~19人	1	0.7%	19	12.6%	39	25.8%	35	23.2%	25	16.6%	13	8.6%	10	6.6%	9	6.0%	151
20~29人	4	4.8%	13	15.5%	18	21.4%	24	28.6%	12	14.3%	6	7.1%	2	2.4%	5	6.0%	84
30~49人	1	1.9%	6	11.5%	13	25.0%	10	19.2%	9	17.3%	8	15.4%	4	7.7%	1	1.9%	52
50~99人	0	0.0%	3	9.1%	9	27.3%	13	39.4%	2	6.1%	5	15.2%	0	0.0%	1	3.0%	33
100人以上	0	0.0%	1	4.2%	6	25.0%	6	25.0%	1	4.2%	4	16.7%	3	12.5%	3	12.5%	24
計	21	2.9%	91	12.7%	203	28.3%	175	24.4%	108	15.0%	60	8.4%	32	4.5%	28	3.9%	718

Q10、平均賞与支給月数(x正社員)

	~1ヶ月未満	1ヶ月~2ヶ月未満	2ヶ月~3ヶ月未満	3ヶ月~4ヶ月未満	4ヶ月以上	計					
1~4人以下	26	18.7%	76	54.7%	32	23.0%	5	3.6%	0	0.0%	139
5~9人	23	15.0%	90	58.8%	35	22.9%	5	3.3%	0	0.0%	153
10~19人	11	8.1%	81	59.6%	38	27.9%	6	4.4%	0	0.0%	136
20~29人	10	14.1%	46	64.8%	12	16.9%	3	4.2%	0	0.0%	71
30~49人	5	10.6%	25	53.2%	17	36.2%	0	0.0%	0	0.0%	47
50~99人	2	6.3%	25	78.1%	5	15.6%	0	0.0%	0	0.0%	32
100人以上	1	4.5%	13	59.1%	6	27.3%	1	4.5%	1	4.5%	22
計	78	13.0%	356	59.3%	145	24.2%	20	3.3%	1	0.2%	600

Q11、昨年冬の金額と比べて(x正社員)

	減少した		昨年並み		増加した		計
1~4人以下	18	8.6%	120	57.4%	71	34.0%	209
5~9人	28	12.7%	127	57.5%	66	29.9%	221
10~19人	30	16.9%	87	48.9%	61	34.3%	178
20~29人	12	12.5%	46	47.9%	38	39.6%	96
30~49人	14	20.9%	31	46.3%	22	32.8%	67
50~99人	7	18.9%	19	51.4%	11	29.7%	37
100人以上	3	12.5%	9	37.5%	12	50.0%	24
計	112	13.5%	439	52.8%	281	33.8%	832

Q12、非正社員にも冬の賞与を支給(x正社員)

	支給する(した)		支給しない		検討・未定		計
1~4人以下	72	33.8%	87	40.8%	25	11.7%	213
5~9人	87	39.5%	95	43.2%	17	7.7%	220
10~19人	78	44.8%	50	28.7%	23	13.2%	174
20~29人	50	53.2%	25	26.6%	6	6.4%	94
30~49人	33	48.5%	23	33.8%	7	10.3%	68
50~99人	18	48.6%	13	35.1%	3	8.1%	37
100人以上	17	68.0%	8	32.0%	0	0.0%	25
計	355	42.7%	301	36.2%	81	9.7%	831

Q13、賞与についてのご意見(抜粋)

NO	業種	正社員数	コメント
1	建設業	1~4人	弊社は給与の査定システムが半出来高制になっているので賞与と言う物は無いのですが、決算賞与はあります。ただ、ここ何年かは会社の累積赤字が無くなるまでは出せないと言ってあり、昨年度累積赤字も無かったため今年こそはと思ってましたが、最終決算は微妙な赤字だったので、今期も見送りました。
2	建設業	5~9人	労働意欲を高めるために支払いたい、それに伴った業績が上がらないため葛藤している。
3	建設業	5~9人	増加率や他の社員とのバランスが難しい。
4	建設業	10~19人	そうたくさん出しているわけではないので、従業員にとっては生活給になっている。業績運動給に移行できるようにするためにも社員教育が必要だ。
5	建設業	30~49人	業績が上がれば当然ボーナスは出す。でないモチベーションが下がる。また離職者を出さない為にも出さないといけないと思うが、ニュースなどで言われる(大企業、お役所)何カ月分などとやれると社員はそういうのが一般的と勘違いするのではないかと。中小企業だとよほどよくないとそんなに多くは出せないと思う。このような報道は我々にとってあまりよくはない。
6	製造業	1~4人	貰う側の時は当たり前と思っていたが、立場が変わると考えもかわった。あげたい気持ちはあるが、業績で判断すべきだしその際は説明が必要。あと、週刊誌や新聞等での公務員や大企業のボーナス支給額を掲載するのはやめてほしい。
7	製造業	5~9人	生活ボーナス扱いになっているので、業績不振でも支払わなければならない感がある。経営者としては、プレッシャーでもあり、原動力でもある。
8	製造業	10~19人	政府が要望している賃金アップですが、中小企業に毎年定額以上の昇給、賞与など考えられません大手自動車会社からの恩恵はないところが、値下げ競争して始末。トランプ政権に代わり、自動車関税引き上げに依る生産が落ち込まない事を願います。
9	製造業	10~19人	現在は会社の業績に合わせて総支給額を決定している。そこから社員さんによって分配される金額を算出しているが明確な基準がありません。今後はどれだけ売り上げ(利益)が伸びたら賞与として還元される金額が決まる仕組みに取り組みでいきたい。(頑張って結果が出たら還元される仕組み)個々への分配率についても今後取り組みたい。
10	製造業	20~29人	製造業が給料と賞与の支払いに、苦勞すぎるのは海外からの人員を当てにしている、実態があり、このままだと、外人の為の日本の会社になりいずれ、インド人のお店、中国人のお店に製造業もなるかも知れない早く、事業の廃業又は、他の職種に変える必要が迫られている、感じがします。本当の、脱下請け自前のものを、自力で整えていかないと、何も残らない。
11	製造業	30~49人	賞与を出さないと従業員のポテンシャルに影響を与えることは十分に理解しているが、大手企業のような金額はとも払うことはできません。大手企業の高額をあまり報道等で公表してほしくありません。
12	製造業	30~49人	賞与は、社員には生活給となっているため、何としても支給したい。そのために初めから予算に組み込んでいる。業績が安定しない(先行き不安)ため、給与アップは抑え、賞与で還元。社員のモチベーションが上がる施策を興じ、業績安定により給与アップに加え、賞与も社員に喜んでもらえるように支給したい。
13	製造業	100人以上	1回2カ月、年間4カ月は出せるように努力をしている。労働分配率を下げるため、設備の自動化や社員の技能向上に努め、生産性向上に重点を置いている。
14	流通・商業	1~4人	今は全く余裕がなく、不安感が多いです。考えていません。
15	流通・商業	1~4人	弊社では、賞与は業績に連動している。会社全体での粗利益がどれくらい以上なら支給すると、おおざっぱだが伝えてある。悪い時は、支給しない。今期は、良かったので支給する。賞与にせよ、昇給にせよ、政府に言われてやることではない。
16	流通・商業	1~4人	かなり厳しいですが、夏の賞与をカットしており、何とか出してあげたいと思う。
17	流通・商業	1~4人	絶対的顧客数、販売数量減少の為、販売機会が少なくなり、総利益が減少のため、減給せざるを得ない。
18	流通・商業	10~19人	年俸制です。賞与は決算賞与1回のみで基本的に黒字であれば毎年出します。予算に対しての実績がどうであったか?によって賞与全体の金額が変わります。賞与は生活給ではなくあくまでもプラスαの収入と位置付けて年俸額を決めています。
19	流通・商業	10~19人	弊社の考えでは、賞与は平均的な額を出したいのは山々ですが、賞与の意味として今期もしくは、半期に於いて業績がどれだけ上がったかによって増減額を決めるものとしている。各個人に於いても支払額は固定ではなく個々の業績・貢献度・協力度等を人事評価に置き換えて出しています。支払う為に銀行借受をしなればいけない事はしたくないし、従業員も、やったらその対価を頂きたい、やらなかった・出来なかったら世間並みに頂きたいと思っている従業員がいるのも事実です。
20	流通・商業	20~29人	大企業や公務員のボーナス支給額ばかりが報道され、中小企業は肩身が狭い。社員さんの同級生同士の話でも出るようで何とか決算賞与で調整するもの...
21	流通・商業	50~99人	業績により支給するが、他社の支給状況も見なければ離職につながる可能性があるため、場合によっては業績以上に支給しなければならなくなる。
22	サービス業	1~4人	資金が無いので支給できない。
23	サービス業	1~4人	従業員にも全ての数字を公表し、会社(事業部)として利益が生じた場合に会社と従業員とで賞与としてシェアすると約束している。賞与の有無にクレームがついたことはないが、一般的に昇給や賞与に関する報道が一部上場企業などに偏っているため、従業員の認識や知識の基準が零細中小企業とはずれており、私の意見や見解と齟齬が生じるケールあり。零細中小企業の現状を正確に発信してほしい。
24	サービス業	1~4人	早く賞与を支給できる経営体質にしたい。
25	サービス業	1~4人	同業では支給していない所も多いと聞きますが、出来るだけ社員に還元できるように努力しています。
26	サービス業	5~9人	今まで寸志程度しか支給できなかったが、今冬はさらに減らすことになる。
27	サービス業	5~9人	毎年、大手のコストカットで、売り上げが上がり仕事が増えているのに、粗利は減っている。いつまで賞与が出せるのか不安。
28	サービス業	5~9人	弊社は給与を業界標準よりも高く設定しており、賞与は利益連動型の決算賞与のみです。利益の30%を賞与として支給しており、利益が出れば賞与が増える仕組みを社員も理解しています。とはいえ世の中では夏と冬の2回支給が多いので、分けて支給する元々の意味についても社員に説明すると、より自社の方針に対する理解が深まると、今、気がきました。アンケートに答えるといいことありますね♪
29	サービス業	5~9人	できればパートも支給したいと思っています。今年も12月に近づきパート総額が1030000に近くなり、ご主人が大企業に勤めていて、1060000の壁がありボーナスを出すと、働く時間が少なくなります。以上の理由で出たくても出せないのが現状です。
30	サービス業	10~19人	部署ごとの業績に応じて支給するが、配属された部署の業績で支給される金額に若い人は不満に思っているかもしれないので、個人のスキルに応じて慎重に考課査定している。
31	サービス業	10~19人	弊社の賞与は、夏、冬、年度末の3回で、基本額に年度実績を加えた内容。現状、幹部2名は、賞与支給はない。私同様に年俸を12割って支給している。基本的に、賞与は、雇用する側に優位な賃金形態との認識で、今後も、雇用年数が長く、高スキルで、マネジメント意識の高いスタッフは、順次、年俸の12割り支給に切り替えていく予定。この施策をすすめる理由は、スタッフとマネジメントのWIN&WINな関係づくりの実践。
32	サービス業	20~29人	貰えて当たり前の風潮をメディアがつくっています。これは大手と呼ばれる企業を中心に報道しているため、この影響が現状厳しい中小企業の従業員の士気を下げる要因のひとつとなっているのは間違いないと思います。賞与があることを大きく見せるのではなく、支給できない企業が数多く存在している事実を報道して頂きたいですね。政治的な圧力からそれを覆すことが難しいのであれば、各団体が声を集めるしかない。
33	サービス業	50~99人	リーマン後に社員の頑張りのもあり回復してきたので、3年連続で3%以上の昇給をしてきた。人件費の増加に伴う固定費増が厳しくなり、経営的に楽でなくなっている。社員が売上増にどれだけ邁進するかは、期待を持つことしかできないが経営指針を共に作る中で共有できていると信じているが、経営環境の変化と客先の変化に対応しきれない。人事評価制度を導入し始めた今年、特に対応が難しいと感じているところ。何とか、話し合いを通して社員と共に乗り切りたい。何れにしても、賞与は業績に因る。
34	サービス業	50~99人	永い不景気の中で業績も好転しない中で賞与の支給は非常に厳しい。いつまで支給できるか不安である。なんといっても官公庁、大企業が恨めしい。

2016年 冬の賞与アンケート調査項目

- 主催：報道部、労務労働委員会
- 期間：11月21日（月）～30日（水）
- 対象：全会員

Q1、貴社の主な業種をお答え下さい。

- (1) 建設業
- (2) 製造業
- (3) 流通・商業
- (4) サービス業

Q2、貴社の今年度の決算見通しはいかがですか。

- (1) 黒字
- (2) トントン
- (3) 赤字

Q3、正社員（パート・アルバイトなど非正社員や派遣・請負社員は除く）を雇用していますか。

- (1) はい
- (2) いいえ

Q4、貴社の正社員数をお答え下さい。

●単一回答 Q3-①

- (1) 1～4 人
- (2) 5～9 人
- (3) 10～19 人
- (4) 20～29 人
- (5) 30～49 人
- (6) 50～99 人
- (7) 100 人以上

Q5、今年の夏の賞与（役員賞与は除く）を正社員に支給しましたか。

●単一回答 Q3-①

- (1) 支給した
- (2) 支給しなかった

Q6、今年の冬の賞与（役員賞与は除く）を正社員に支給しますか。（既に支給された方も含む）

●単一回答 Q3-①

- (1) 支給する（支給した）
- (2) 支給しない
- (3) 検討中又は未定

Q7、賞与支給方法は、どのようにして決めますか ※重複と指摘を受ける

●複数回答 Q6-①

- (1) 給与連動式（基本給などに対して支給率を決めたもの）
- (2) 業績連動式（組織の業績や個人の業績に応じたもの）
- (3) 全員一律の金額（賞与の全額又は一部）
- (4) 労使交渉（社員との話し合いを含む）
- (5) その他

Q8、賞与額の主な計算基準をお答え下さい。

●単一回答 Q6-①

- (1) 定額金額
- (2) ○カ月計算
- (3) 査定評価
- (4) その他

Q9、1人平均賞与支給額をご記入下さい。（全正社員の賞与支給総額÷正社員数、千円未満を四捨五入）

●記述回答 Q6-①

Q10、1人平均賞与支給月数をご記入下さい。（1人平均賞与支給額÷1人平均所定内賃金）※所定内賃金は残業代を含まず。●記述回答 Q6-①

Q11、1人平均賞与支給額は、昨年冬の金額と比べてどうなりましたか。

●単一回答 Q6-①

- (1) 減少した
- (2) 昨年並み
- (3) 増加した

Q12、パートやアルバイトなど非正社員にも、今年の冬の賞与を支給しますか。（既に支給された方も含む）

●単一回答 Q6-①

- (1) 支給する（支給した）
- (2) 支給しない
- (3) 検討中又は未定
- (4) その他

Q13、賞与についてご意見があればお答え下さい。●記述回答